

2021年3月期決算 ～参考資料～

2021年5月14日

株式会社ヤクルト本社

損益実績について



(単位:億円)

	2021年3月期実績 (うち、為替影響額)	前年比	予想対比 (11月13日発表)
売上高	3,857 (▲112)	95.0%	99.4%
営業利益	436 (▲23)	95.7%	101.6%
経常利益	576 (▲28)	98.5%	98.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	392 (▲17)	98.8%	98.2%

為替影響額は対前年実績

通期予想について

Yakult
(図 2)

(単位:億円)

	※ 2022年3月期 通期予想	前年比	(参考) 収益認識基準 適用前予想
売上高	4,085	105.9%	4,150
営業利益	500	114.4%	500
経常利益	600	104.2%	600
親会社株主に帰属する 当期純利益	410	104.4%	410
1株当り 当期純利益	255.53円	104.4%	255.53円

※ 2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」が適用されます。

国内飲料食品事業 1日平均販売本数と営業利益率の推移

Yakult

(図 3)

(千本/日)

10,000

販売本数(千本/日)

営業利益率(%)

(%)

15.0

12.0

9.0

6.0

3.0

9,500

9,000

8,500

8,000

2016年
3月期

2017年
3月期

2018年
3月期

2019年
3月期

2020年
3月期

2021年
3月期

8,914

9,367

9,694

9,543

9,488

9,583

4.8

6.8

8.1

7.6

8.7

11.5

「Yakult(ヤクルト)1000」

2019年10月に関東1都6県で限定販売を開始

「ヤクルト400W」

2020年1月に九州地区で限定販売を開始

「Yakult(ヤクルト)1000」

2020年8月に販売地域を東日本地域に拡大

「ヤクルト400W」

2020年4月、6月に販売地域を西日本地域に拡大

Yakult(ヤクルト)1000



※希望小売価格：130円／本、910円／7本パック(いずれも税別)

※生きた「乳酸菌 シロタ株」を1本(100ml)に1,000億個含むヤクルトの歴史の中で最高密度・最高菌数の乳製品乳酸菌飲料

発売、地域拡大時期	販売地域	販売本数目標 (1日あたり本数)
2019年10月 1日	関東1都6県	140千本／日
2020年 8月31日	東日本地域	480千本／日
2021年 4月 5日	全国展開	1,160千本／日

※2020年度 実績本数： 427千本／日(2020年4月度～2021年3月度)

2021年度 目標本数： 1,160千本／日(2021年4月度～2022年3月度)

国際事業 各国販売実績(速報値)(2021年1月 - 2021年3月)

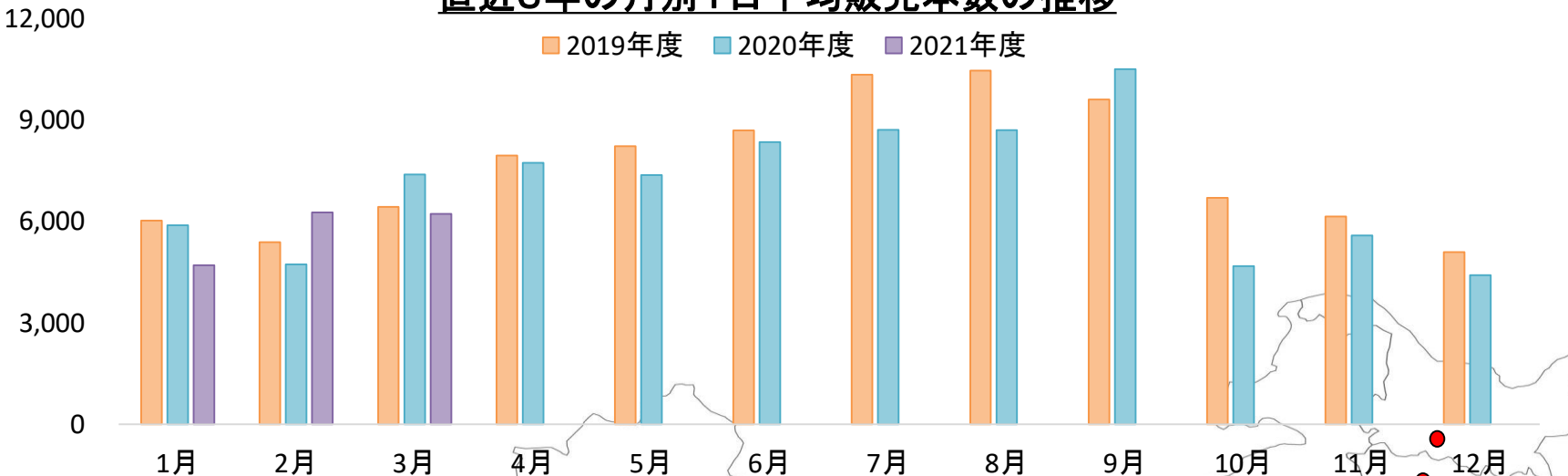


(図 5)

国名	販売対象人口 (千人)	2021年 1~3月 販売実績 (本/日)	前年比 (%)	人口比 (%)	国名	販売対象人口 (千人)	2021年 1~3月 販売実績 (本/日)	前年比 (%)	人口比 (%)	
香 港	8,280	382,547	91.3	4.62	ブ ラ ジ ル	102,990	1,533,368	99.4	1.49	
シンガポール	5,610	246,007	100.7	4.39	メ キ シ コ	97,428	3,402,525	90.2	3.49	
インドネシア	200,000	6,620,420	104.2	3.31	ア メ リ カ	336,870	523,016	125.9	0.16	
オーストラリア	25,000	277,050	100.6	1.11	米 州 計	537,288	5,458,909	95.3	1.02	
マレーシア	27,000	330,874	90.7	1.23	オ ラ ン ダ	17,479	196,297	112.7	1.12	
ベトナム	40,000	630,345	104.7	1.58	ベ ル ギ ー	40,947	91,376	103.2	0.22	
インド	133,000	211,680	100.8	0.16	イ ギ リ ス	71,774	254,674	112.7	0.35	
中 東	23,900	18,809	153.0	0.08	ド イ ツ	82,430	91,953	110.6	0.11	
ミャンマー	5,160	9,865	61.2	0.19	オーストリア	9,043	14,406	96.7	0.16	
中 国	広 州	89,700	2,211,311	99.5	2.47	イ タ リ ア	60,759	86,914	85.2	0.14
	上 海	24,280	371,047	80.1	1.53	ヨ ー ロ ッ パ 計	282,432	735,620	106.8	0.26
	北 京	30,760	338,781	84.8	1.10	(連 結 合 計)	2,046,740	20,640,159	98.5	1.01
	中 国	614,330	2,796,894	94.7	0.46	台 湾	23,146	506,062	89.2	2.19
中 国 計	759,070	5,718,033	94.7	0.75	タ イ	66,560	2,142,961	101.9	3.22	
アジア・オセアニア連結計	1,227,020	14,445,630	99.4	1.18	韓 国	51,780	2,527,626	98.2	4.88	
					フ ィ リ ピ ン	91,400	3,637,462	118.0	3.98	
					(持 分 法 合 計)	232,886	8,814,111	105.8	3.78	
					合 計	2,279,626	29,454,270	100.6	1.29	

(千本/日)

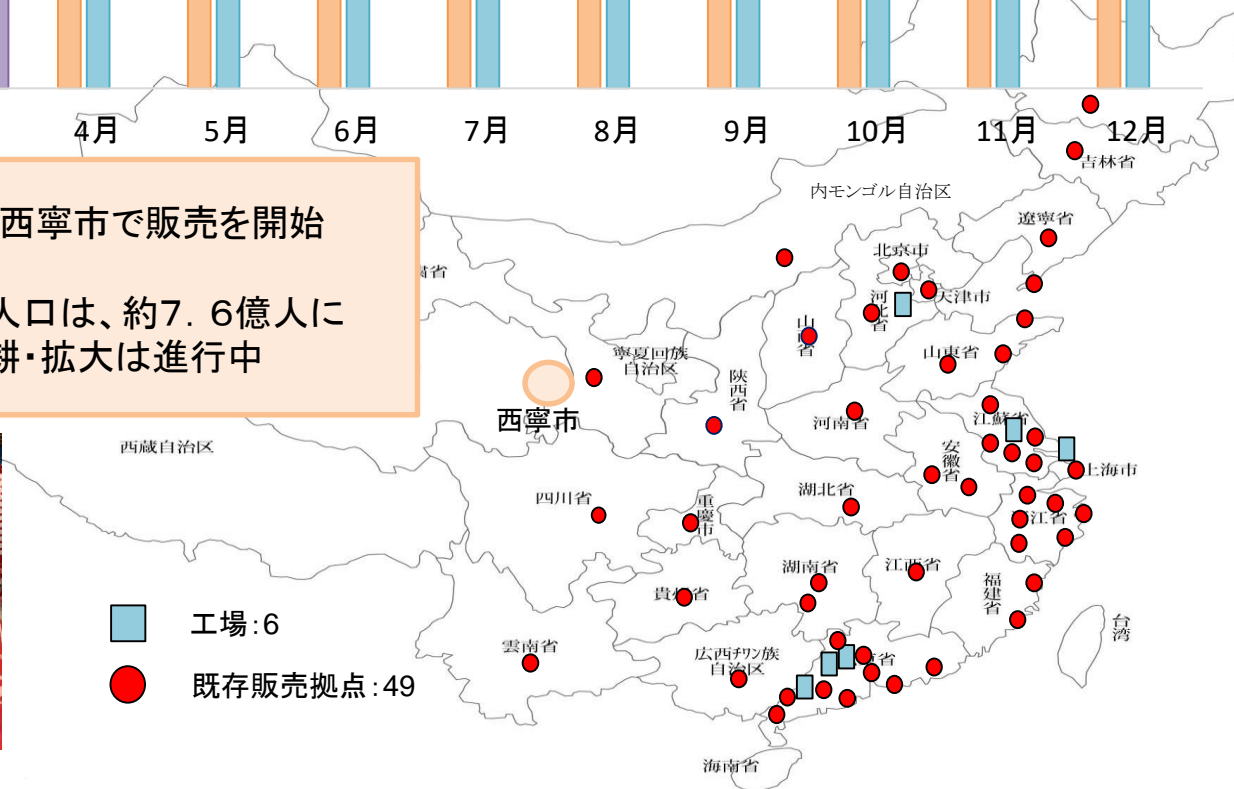
直近3年の月別1日平均販売本数の推移



- 2021年4月に青海省西寧市で販売を開始
- 中国全体の販売対象人口は、約7.6億人に達しており、順調に深耕・拡大は進行中

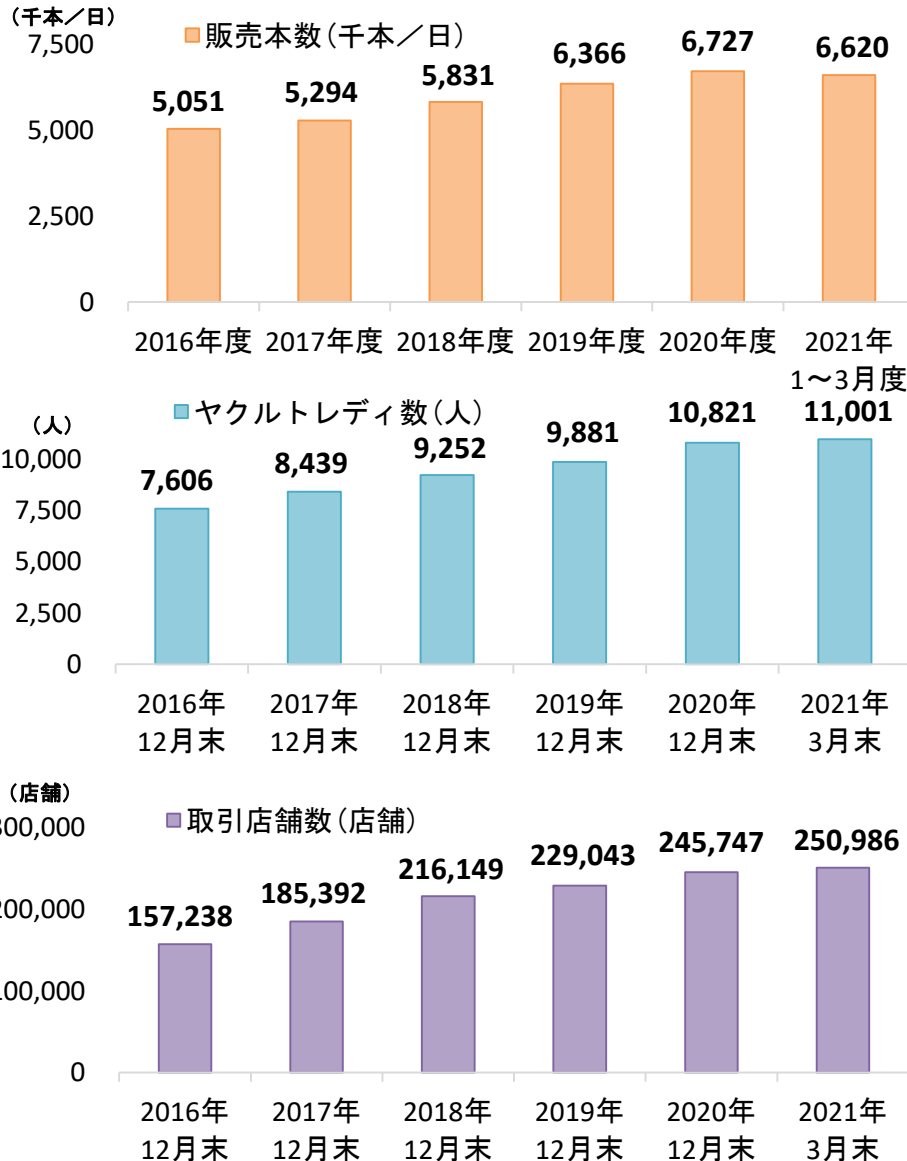


- 工場: 6
- 既存販売拠点: 49



国際事業(インドネシア)

業績推移



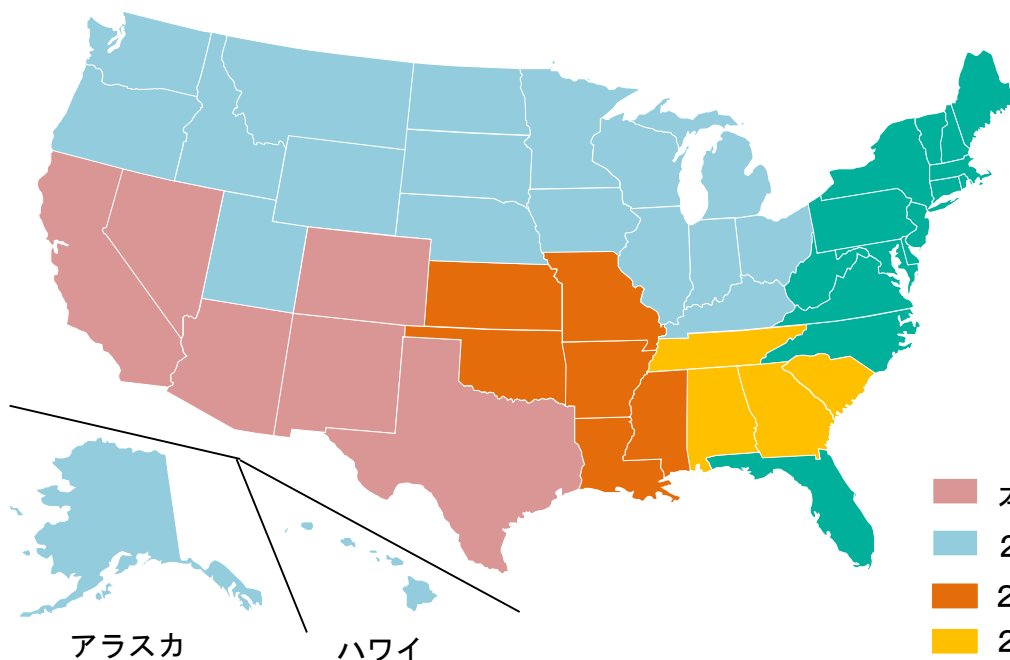
- 2020年は新型コロナウイルス感染症の拡大で社会的制限が強化され、ヤクルトレディの活動が鈍化したが、徐々に回復
- ヤクルトレディ数は、11,000人を超え、人材育成に注力した組織づくりにより、販売本数が増加
- 取引店舗数も順調に増加し、販路は拡大
- 2020年度(1~12月)の販売本数は、前年を上回る



メキシコ

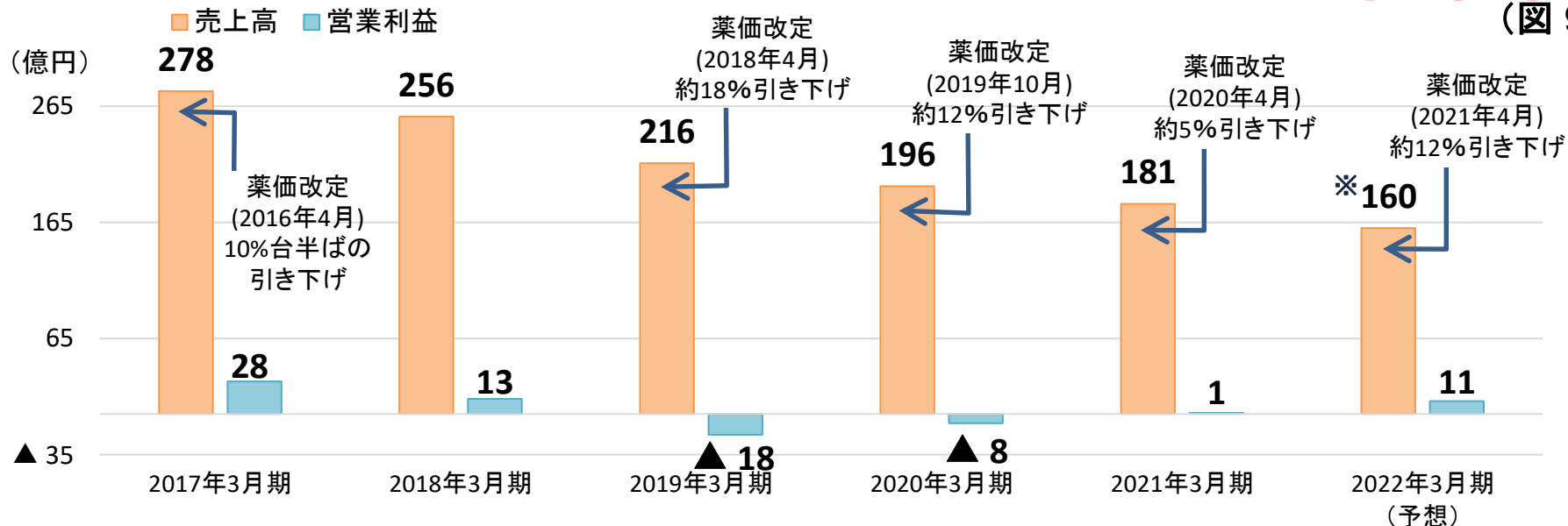
- 新型コロナウイルス感染症の拡大と景気後退が深刻化しており、販売本数にも影響
- 景気回復やコロナ影響が落ち着くまでには時間がかかると予想され、厳しい状況がしばらく継続

アメリカ



- 2007年に本格的に販売を開始した南西部6州の販売本数が順調に推移
- 2019年7月から東部15州も販売対象地域とし、全土へ拡大中
- コロナ禍にも関わらず、販売本数は順調に推移

- 本格販売開始(6州)
- 2016年に進出(19州)
- 2017年 6月以降に進出(6州)
- 2017年11月以降に進出(4州)
- 2019年 7月より販売対象(15州)



※2022年3月期の売上は、収益認識基準適用後の数値を表示

売上回復策

既存製品の売上確保

他社開発品、製品における販売提携

新規抗がん剤の導入、共同開発推進

新規後発医薬品の継続的上市

新薬候補品の自社創出、開発推進

他社とのアライアンス

抗悪性腫瘍剤「オニバイド」

2019年10月に日本セルヴィエ社とプロモーション契約を締結、2020年3月にがん化学療法後に増悪した治療切除不能な膵癌の効能で、製造販売承認を取得した。

2020年6月に上市され、想定より早いスピードで医療機関に採用されている。

当資料に掲載されている計画、見通しなどのうち、過去の事実以外は将来に関する見通しであり、不確定な要因を含んでいます。実際の業績は、さまざまな要因によりこれら見通しとは異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

当資料のいかなる情報も投資勧誘を目的としたものではありません。また、弊社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。万一、この資料に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いません。